

■ 第26回アジアこども会議 ■



- ◆日時 : 2019年8月8日(木) 14時45分~17時15分
- ◆会場 : 参議院議員会館 講堂
- ◆会議参加者 : コンクール受賞者 (国内:10名(学校行事の為3名欠席)、海外:2名 計12名)
- ◆テーマ : 「3R」
- ◆内容 : 班ごとに話し合いその成果を発表し、最後に「こどもアジェンダ21」宣言をまとめ、参加者全員の署名入り宣言書を環境大臣に手渡す
- ◆基調講演 : 田中 道雄 環境省 環境教育推進室 室長補佐
- ◆プログラム : 田中室長補佐による、基調講演「3R」
3班に分かれ「3R」について話し合い、まとめた後、
班ごとに発表

- 「こどもアジェンダ21」宣言とりまとめと記入(日本語・韓国語)子供たちの代表より、田中環境教育推進室室長補佐(環境大臣代理)へ宣言書を手渡す
閉会



環境省 環境教育推進室 田中室長補佐の基調講演。

まず、循環型社会の説明から始まり、自分たちの住んでいる市や町、国や会社といった多くの人の協力が必要だと学びました。そして、今回のテーマである「3R」の中でいちばん大事なのがリデュースであり、ゴミの量を減らす事の大切さを改めて教えてもらった。企業で取り組んでいる詰め替え商品やペットボトルの再利用の取り組みをプロジェクターを使い分かりやすく説明を受けた。現在、3Rの大切さを広めるための応援ソングやダンスで楽しく理解してもらおう取り組みがあることを知った。

その後、3班にわかれ、「3R」について話し合った後、発表が行われた

◆日本1班×韓国

一部抜粋

- 韓国でも日本と同じように、電気をこまめに消したり、ゴミはすぐ捨てずに、何か再利用出来ないか考えながらゴミを減らす努力をしています。ペットボトルなども工夫をすれば鉛筆立てや花瓶などに利用することができます。
- 洗剤など新しく購入する際は、詰め替え用を買う事で3Rでいちばん大切なリデュースにつながります。企業とわたし達消費者が協力することで大きな力になります。同時にエコバックを持っていく事をおすすめします。



◆日本 2班

一部抜粋

- 学校でもお知らせプリントの裏をみると算数の問題用紙だったりします。これも再利用としてゴミを減らす事につながります。また、教科書やノートもリサイクルマークが付いているものを使用しています。
- ペットボトルのリサイクルだけでも服や文房具など様々な商品に生まれ変わることができます。まだまだ3Rの意味を知らない人が多いので、簡単に出来る3Rを一人ひとりが見つけ教え合って一緒に実行することが大切です。



◆日本 3班

一部抜粋

- 私たち子供が現在取り組んでいる事は、ペットボトルは買わずに水筒を持って出かけるようにしています。家の冷房はなるべく付けずに図書館などの公共の場へ行ってます。
- レジ袋やストロー、割りばしなど必要のないものは断る勇気も必要です。小さなものでも何度ももらえば大きなゴミになってしまいます。こうした努力で3Rの効果が現れて行くのだと思います。



「こどもアジェンダ21」宣言

【私たちの3つの勇気 もらわない勇気 伝える勇気 がまんする勇気】



■日本・韓国の受賞者全員の署名がされた色紙に宣言を日本語、韓国語で記入。環境省 環境教育推進室 田中室長補佐に手渡した。